

痛風患者の増加傾向について

痛風は、世界の各国で増加しており、日本でも痛風患者数は100万人を超えるようになりました。



東京女子医科大学膠原病リウマチ痛風センターの報告によれば、日本人の痛風患者 983 例を分析したところ、男性 99%、約 25% に痛風あるいは高尿酸血症の家族歴が認められ、痛風発症年齢の平均は 44 歳。初診時痛風罹病期間は平均 6 年で、ほとんどが痛風発作を主訴に来院。初診時点での痛風結節を保有している割合は 5-7% でありました。



痛風結節保有例と非保有例のその後の経過を比較したところ、痛風結節保有例では、非保有例と比べて高血圧や循環器・脳血管疾患が有意に多い結果となりました。

